

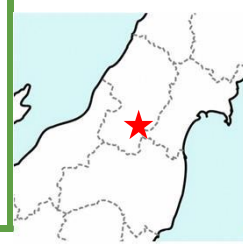
R5開始

たかはたまち

高島町(山形県)

主な品目

- 水稲



実施体制

高島町、JA山形おきたま、有機農生産者団体
町内商工業関係者、高島町教育委員会 等

面積情報

有機農業取組面積: 93.4ha
耕地面積に占める割合: 2.5%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

農業者の高齢化や後継者不足等により、有機栽培面積は平成21年をピークに減少傾向にある。雑草対策等に係る負担が大きいことや地域内での消費・流通が限定的であることが課題となっている。

2 成果目標

- 有機農業の取組面積の拡大(水稲)
R4年度 87ha → R10年度 91ha
- 有機農産物の販売数量の拡大
R4年度 414 t → R10年度 423 t
- 有機農業に取り組む農業者数の増加
R4年度 48人 → R10年度 53人

3 主な取組内容

生産

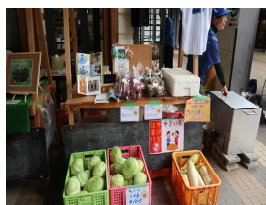
- 水稲における抑草技術の研究や研修会の開催
- 有機栽培による畑作の振興



自動抑草ロボットを試験導入して効果を検証。効果的な使用方法について研究。

加工・流通・消費

- 消費者が町内産有機農産物を入手できるよう、生産者や事業者と地域認証を運用
- 飲食店等における有機農産物の活用の促進
- 学校給食等における有機農産物の活用
- 有機農産物直売イベントの開催
- 有機農業をテーマにした講演会の開催



有機農産物の地域内消費の促進と、生産者と消費者の交流を促進するため、マルシェを開催。



未来の消費者である小中学生を対象有機農産物を提供し、併せて有機農業について学ぶ動画を視聴。

4 これまでの成果

有機農産物の学校給食への導入に向けて、教育委員会や栄養教諭と連携し、計5回(うち1回は有機米と有機野菜を合同)実施。

【有機給食の実施回数】

R4年度 1回 → R6年度 有機米3回 有機野菜3回
特別栽培米(*)3か月
*化学肥料不使用、農薬は初期除草剤1回まで

5 今後の展望

学校給食での導入や農産物直売所での取り扱いにより、地域内での消費を増やしつつ、生産の拡大を図っていく。